【１．日本側拠点機関名】

【２．日本側研究代表者 所属部局名・職名・氏名】

【３．日本側協力機関名】

【４．研究課題名】

【５．研究分野】
一般に分かりやすく研究分野を適宜ご記載ください。必要に応じてどのような分野であるか説明を入れていただいても結構です。

【６．実施期間】
和暦（西暦）○年○月～ 和暦（西暦）○年○月　（○年間）

【７．全交流期間を通じた目標】
申請時に掲げた目標を、研究課題の学術的重要性、日中韓三カ国により研究課題を実施する必要性に加え、自立的で継続的な国際研究交流拠点の構築と次世代の中核を担う若手研究者の育成の観点から簡潔にご記入ください。

【８．日中韓を中核とする世界的水準の研究交流拠点の構築状況】
・相手国側拠点機関や国内外協力機関との協力連携体制にも具体的に言及して下さい。
・記載内容例：
　- 本事業により得られた学術的価値の高い、社会的にインパクトのある成果
　- 本事業により得られた成果の社会への還元状況
　- 本事業により日本側拠点機関が得た国際的な強み・特徴
　- 相手国拠点機関や国内外協力機関との協力・役割分担の体制

【９．次世代の中核を担う若手研究者の育成】

　・相手国側拠点機関や国内外協力機関との協力連携体制にも具体的に言及して下さい。

・記載内容例：

　- 若手研究者の能力・資質等向上に資する育成プログラムの実施及びその効果

- 若手研究者による交流相手国との研究ネットワーク構築状況

【１０．中間評価指摘事項への対応】

【１１．その他の成果・今後の課題・展望等】

・記載内容例：

　- 世界的水準の研究交流拠点の維持、若手研究者育成に向けた活動の継続的実施に向けた計画

以上の１１項目に沿って、A4サイズ４～５枚程度で作成してください。
特に【８】、【９】については、２項目合わせて１.５～２枚以上の文章量をご記載ください。

※本様式は、各日本側拠点機関における国際学術交流の取り組みとして、一般の方にも分かりやすく効果的にアピールできるようウェブページ掲載も含め広報していく予定です。作成にあたっては、写真や図表グラフ（大学のロゴ、研究代表者等の顔写真、交流の様子等）等も盛り込み、レイアウトや文字サイズを工夫してください。